

1 単元について

対象学年	中学校 第1学年
学習指導要領	聞くこと（エ） 話すこと（イ）
単元名	LESSON6 School in the USA（全6時間） NEW CROWN ENGLISH SERIES1
単元目標	<p>友達や家族など身の回りの人物について、実物や写真とともにジェスチャーを用いたり、相手の理解に応じて工夫して話したりするなど、積極的に伝えようとする。</p> <p style="text-align: center;">（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）</p> <p>強勢、イントネーション、間などに注意して、身の回りの人物についての内容を正しく伝えたり、相手の理解に応じて、実物や写真などを利用したり、伝えたい語を繰り返したりするなど工夫して話すことができる。</p> <p style="text-align: center;">（表現の能力）</p> <p>相手の人物紹介を聞いて、分からない点を聞き返したり、さらに詳しく知りたいことについて問い返したりしながら理解することができる。</p> <p style="text-align: center;">（理解の能力）</p> <p>三人称の概念やそれが用いられる場面を確認するとともに、人称によって動詞の語尾が変化する英文の特徴を理解している。</p> <p style="text-align: center;">（言語や文化についての知識・理解）</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前々単元で学習した自己紹介の仕方や、前単元で be 動詞を用いながら第三者についての表現を学習してきたことをもとに、自分以外の人物についての対話活動を発展的に仕組む。 ・単元を通じて毎時間の導入であいさつを発展させたり、information gapのある対話形式の言語活動を設定したりして、三人称単数現在の肯定文、否定文、疑問文とその答え方についての定着を図る。 ・強勢、イントネーション、区切りについて、教科書本文の音読練習を通して理解と定着を図る。 ・今まで相手の理解を確かめないまま一方的に話したり、受動的に聞いたりすることが多かったことを踏まえ、互いに相手を意識したコミュニケーションの進め方の理解を図る。 ・生徒の追究意欲を持続させるための工夫として、人物推測というゲーム性のある活動を取り入れ、活動したくなるような工夫を心がける。 ・強勢、イントネーション、間を正しく用いることができているかを意識させるため、ペアでの音読練習や対話活動で相互評価を取り入れる。 ・単元の終末では、『数あるホストファミリーの中からホームステイ先を選ぼうとしている人物が、自分の家に滞在してみたいという気持ちになるように、自分の家族の魅力をアピールする』活動を設定し、それに向けて各単位時間の中で言語を運用する力を高めていけるように段階的に単位時間を配列する。 ・人物紹介に使う動詞や名詞、魅力を伝えるための有効な表現を必要に応じて導入する。
参考資料	・本単元学習プリント例（帯活動用・人物推測クイズ用・友達紹介用・）

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞く評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的に取り組んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語の情報を正しく聞き取ることができる。 ・初歩的な英語を、場面や状況に応じて適切に聞くことができる。 	
話す評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。 ・初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
単元の評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人物についての言語活動で、間違いを恐れず既習表現を積極的に用いて話している。 ・話し手の伝えようとする内容に関心を持ち、聞き返すなどしながら聞いている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーや実物を使ったり、相手の理解に応じて伝えたい内容を繰り返したりして、相手の理解を促す工夫をしながら話している。 	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容を表す語に強勢を置いたり、イントネーションを正しくつけたりして、内容が正しく伝わるように話すことができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞かれたことに対して適切に応答することができる。 ・聞き手の理解に応じて、実物や写真などを利用したり伝えたい語を繰り返したりするなど工夫して話すことができる。 	<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三人称の文の構造や音声上の特徴を正しくとらえ、相手の伝える内容を理解することができる。 <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の人物紹介を聞いて、分からない点を聞き返したり、さらに詳しく知りたいことについて問い返したりしながら理解することができる。 	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三人称の概念やそれが用いられる場面を確認するとともに、人称によって動詞の語尾が変化する英文の特徴を理解している。 ・人物紹介でよく用いられる表現形式を理解している。
単位時間における具体的評価規準	<p>与えられた話題の中で既習表現を使って間違いを恐れずに対話活動に取り組んでいる。</p> <p>友達の好きなものや行動など、友達の情報を自ら進んで伝えようとしている。</p> <p>身近な人物について絵や写真を示したり、ジェスチャー等を使ったりして相手の理解を促す工夫をしながら話している。</p> <p>身近な人物について相手の説明に反応したり、さらに詳しく知ろうと関心をもって質問したりしている。</p>	<p>三単現の一般動詞を用いた肯定文や疑問文、否定文について正しい強勢文におけるイントネーションなどに注意して話すことができる。</p> <p>身近な人物について三単現の一般動詞を正しく用いた文で話すことができる。</p> <p>身近な人物について質問されることに対して適切に答えることができる。</p> <p>聞き手の理解を確認し、それに応じて絵や写真などを指し示して話したり、伝えたい語を繰り返したりするなどして伝えたい内容を相手に伝えるように話すことができる。</p>	<p>身近な人物の好きなことや持ち物などについて、三単現の文の構造や内容を表す語に着目して正しく理解することができる。</p> <p>身近な人物について相手が伝えたい内容を、相手が強調した語や文、ジェスチャーなどをもとに理解することができる。</p> <p>相手の話の中心となる内容を確認したり、分からない点は聞き返したりするなど、自分の理解を相手に伝えながら聞き取ることができる。</p>	<p>三単現の肯定文や疑問文、否定文の語順や形態や意味を理解している。</p> <p>This is ~. と名前を紹介した後、その人物を代名詞 he または she を用いて効率よく表現していくような英語らしい文のつながりを理解している。</p>

3 指導と評価の計画（全6時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<p>終末の活動のイメージと単元の概略を理解するとともに付けたい力や人物紹介に必要な三人称の表現を知り、単元の目標と学習の見通しをもつことができる。</p>	<p>帯活動（対話） “How many ~ do you have?”</p> <p>写真やビデオでアメリカの中学校の様子を紹介し題材への興味づけを行う。</p> <p>教師二人の対話を聞き、対話を充実させるための重要な点を理解する。 ・音声面 ・反応、問い返し ・続けるための方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>聞き手と話し手がともに相手を意識して、身近な物について対話しよう。</p> </div> <p>教師の口頭導入から、自分と相手以外の第三者について表すときの英文の特徴を理解する。</p> <p>教科書（§1）のトムの話す内容を聞き取り、内容を確認する。 ・三単現の一般動詞を用いた肯定文の語順や基本的なイントネーション、区切り、強勢について理解する。 ・教科書本文を音読する。</p>					<p>・活動の観察</p> <p>・学習プリントへの記入状況</p> <p>・学習プリントへの記入状況</p> <p>・教科書本文音読の様子の観察</p> <p>・相互評価</p>	<p>・間違いを恐れずに大きな声で対話している姿を価値付ける。</p> <p>・絵、写真を用いて説明する。三単現の文章の特徴を音声で導入し、その後文字も用いて確認する。</p> <p>・音読により文の基本的なイントネーションや区切り、強勢の定着を図る。</p>
2	<p>三人称単数現在の英文の意味・形態・機能や人物紹介に必要な表現を理解し、友達の好きなことについて対話することができる。</p>	<p>帯活動（対話） ・キャラクターあてゲーム</p> <p>ある教師についての文から、三単現の英文を導入する。 ・音声で導入した後文字を用いて意味、形態を説明する。</p> <p>教科書（§2）のトムと久美の対話の内容を聞き取り、内容を理解する。 ・三単現の一般動詞を用いた疑問文の語順や基本的なイントネーションや区切り、強勢について理解する。 ・教科書本文を音読する。 友達の好きなことや持ち物について対話する。</p>					<p>・活動の観察</p> <p>・学習プリントへの記入状況</p> <p>・教科書本文の音読の様子を観察</p> <p>・相互評価</p> <p>・活動の観察</p> <p>・学習プリントへの記入状況</p>	<p>・間違いを恐れずに大きな声で対話している姿を価値付ける。</p> <p>・生徒に身近な教師数人について写真を用いながら口頭で紹介する中で、三人称の文の特徴をつかませる。</p> <p>・机間指導により動詞の変化への注意を促しながら、個別指導を行う。</p> <p>・机間指導により動詞の変化への注意を促しながら、必要に応じて個別に反復練習</p>

3	<p>三単現の文を用いて、友達の部活や持ち物について相手の理解を確かめながら数文で話すことができる。</p>	<p>帯活動（対話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Interview&Report <p>学習課題を確認する。 友達の学校生活の様子について、仲間に伝えたいことを紹介しよう。</p> <p>教科書（§3）のトムと久美の対話の内容を聞き取り、内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三単現の一般動詞を用いた否定文の語順や基本的なイントネーションや区切り、強勢について理解する。 ・ 本文を音読する。 <p>同じ班の仲間の1人について数文で表し、他の班の仲間に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたい部分を強調したり、相手の理解を確かめながら話したりすることで、聞き手を意識して話す。 <p>対話の内容を交流し、対話の内容や視点について振り返る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の観察 ・ 活動の観察 ・ 相互評価 	<p>習等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間違いを恐れずに大きな声で対話している姿を価値付ける。 ・ どの生徒も活動へ興味をもって参加できるよう部活や係活動など誰もが知っている事柄だけでなく、その人物の意外な面を表すような内容を含めて伝え合うことを促す。 ・ 聞き手を意識した話し方の視点を与え教師が例示する。 ・ 三人称単数現在を含んだ英文の正しさについて確認しながら机間指導を通し定着状況を把握し必要に応じて教師との対話を行わせる。
4	<p>人物推測クイズを通して、第三者の好きなスポーツや持ち物について、自分が理解することができる。</p>	<p>帯活動（対話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生の好きなものの調べ <p>学習課題を確認する。 知りたいことを進んで質問したり、その内容に反応したりしながら人物推測クイズを解き合おう。</p> <p>教師の例示から本時目指す姿のイメージをもつ。</p> <p>繰り返し質問をし、その答えを聞き取りながら、各個人が持っているカードに記されているのが誰なのかをあてる。</p> <p>対話の内容を交流し、対話の内容や視点について振り返る</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の視点を与えて教師が例示し目指す姿が明確にもてるようにする。 活動の仕方 相手を意識したコミュニケーションの方法 ・ 大切に話す話し方聞き方について生徒ができていないかという適切さを確認しながら机間指導する。
5	<p>自分の家族の中の人物について仲</p>	<p>帯活動（対話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達紹介 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違いを恐れずに大きな声で対話している姿を

	<p>間に紹介したい内容を考え、相手によく伝わるようにするための構想を立てることができる。</p>	<p>学習課題を確認する。 【設定】『あなたの家族は数あるホストファミリーの一つです。ホームステイをすることになった生徒を自分の家族にぜひ招きたいと考えています。家族の魅力を紹介して相手に興味をもたせ、滞在してみたいという気持ちをもたせましょう。』</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家族の中の人物について仲間に紹介したい内容を考え、どんな文をどのように伝えるか構想を立てよう。</p> <p>紹介で使える文例をもとに、友達に話したい内容を箇条書きにする。</p> <p>必要に応じて、紹介で使う絵、写真（場面状況がよく分かるもの）、実物を準備する。</p> <p>自分が立てた構想を見直し、次時に向けての自己課題を確認する。</p>				<p>価値付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プリントへの記入状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の魅力を伝えるのに有効な表現を導入し、必要に応じて利用できるようにする。 ・ 机間指導により各自の英文の正しさとともに、聞く人の興味をひくような魅力ある英文作りができている生徒のよさを広める。
6本時	<p>自分の家族についてその人物の特徴を伝えるために、相手の理解に応じて大切な内容を繰り返したり写真やジェスチャーを用いたりして伝えたい内容を適切に伝えることができる。</p>	<p>帯活動（対話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Interview & Report <p>学習課題を確認する。 自分の家族の一人について、その人物の特徴が相手によく分かるように紹介しよう。</p> <p>メモをもとに聞き手話し手が共に相手を意識しながら交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で ・ スクランプルペアで <p>対話の内容を交流し、対話の内容や視点について振り返る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の観察 ・ 学習プリントへの記入状況 ・ 活動の観察 ・ 相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違いを恐れずに進んで相手を見付け対話している姿を価値付ける。 ・ 例示により本時目指す姿を具体的に示す。 ・ 大切に話し方聞き方について確認しながら抽出生徒を中心に机間指導する。

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・自分の家族についてその人物の特徴を伝えるために、相手の理解に応じて大切な内容を繰り返したり、写真やジェスチャーを用いたりして、伝えたい内容を適切に伝えることができる。

(2) 本時の位置

6 / 6 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
導 入	<p>帯活動 (Interview & Report 活動) クラスで人気のあるスポーツについて調査し、グループに戻って報告する。</p> <p>【ペア対話：2人称でのinterview】 A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: Do you like soccer? B: No, I don't. But I like baseball.</p> <p>【グループ内発表：三人称に置き換えてreport】 "A" likes sports. He doesn't like soccer. But he likes baseball.</p>	<p>ア - ・学習プリント 活動後自己評価欄への記入を行う。 ・活動の観察</p>	<p>進んで相手を見付け英語で積極的に対話する姿勢や、三単現の表現を正確に用いて、第三者について表現できていた生徒を全体の場で認め、本時大切にしたい態度と表現の確認をする。</p>
展	<p>本時の課題を理解する。</p> <p>自分の家族の1人について、その中の人物の特徴が相手によく分かるように紹介しよう。</p> <p>【設定】 『あなたの家族は数あるホストファミリーの一つです。ホームステイをすることになった生徒を自分の家族にぜひ招きたいと考えています。家族の魅力を紹介をして相手に興味をもたせ、滞在してみたいという気持ちをもたせましょう。』</p> <p>教師二人による例示から、活動で目指す姿を理解する。</p> <p>【話し手として】 ・正しい強勢、抑揚、間で話す。 ・特に強調したい部分は相手の理解を確かめ、それに合わせて大切な語を繰り返したり、写真を指し示したり、ジェスチャーを使ったりして話す。</p> <p>【聞き手として】 ・聞き取れなかったときは聞き返す。 ・中心となる内容を確認したり、自分が理解したかどうかを相手に伝えたりするなど、反応しながら聞く。</p>		<p>次の視点を与えて2回の例示を行い、目指す姿を明確にもてるようにする。 正しい強勢、抑揚 相手を意識したコミュニケーションの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の写真を活用し説明の英語と一致させて話す。 ・特に伝えたい部分で語の繰り返しや強調により相手の理解を促す。
開	<p>紹介する人物の特徴や持ち味をよりよく伝えるために、相手の理解に応じて大切な語を繰り返したり、写真を指し示しながら説明したりするなど、グループ内ペアで聞き手を意識しながら練習する。</p> <p>スクランブルで相手を意識しながら繰り返し交流する。</p> <p>【家族紹介の例】 Hi. This is my family. (趣味の道具に囲まれる父の写真を示して) This is my father, Yuji. He likes fishing. Do you like fishing? You can go fishing with him. (台所にいる母の写真を示しながら) This is my mother, Keiko. She likes cooking very much. (包丁で物を切る真似をして) "Cooking" O.K.? She cooks fish well. You can eat nice food. Please come to my family.</p>	<p>ア - イ - ウ - ・本時の重点項目について机間指導の中で把握する。 ・活動の観察 ・相互評価</p>	<p>適切に対話するために大切に話す話し方聞き方について再度確認しながら机間指導し、間をおいて話すことや繰り返し話すことなど、個の学習状況に応じて助言する。</p>
終 末	<p>数人が全体の前で発表し、本時大切にしてきた話し方・聞き方を確かめる。</p> <p>本時の学習について、プリントの自己評価欄に記入しながら、取組姿勢と技能の高まりを振り返る。</p>	<p>・目指す姿にどれだけ近づいたか、自己評価により今後の学習意欲につなげる。</p>	<p>前時までの課題を生かし、本時の中で克服しようと努力した姿とその生徒の伸びを認める。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<ア - >

身近な人物について絵や写真を示したり、ジェスチャー等を使ったりして相手の理解を促す工夫をしながら話そうとしている。

<イ - >

相手の理解を確認し、それに応じて絵や写真などを指し示して話したり、伝えたい語を繰り返したりするなどして伝えたい内容を相手に伝わるように話すことができる。

(2) 評価の実際

評価の方法

<活動の観察>

- ・教師が、グループ内でのペア練習の場やスクランブル活動におけるペアでの交流の場において、個別に机間指導する中で観察する。
- ・紹介しあう活動に教師も加わり生徒の説明を聞く中で、意図的に詳しい説明を求める。そのような相手に対し、どう伝わるように話すのかその様子を観察する。

評価の決定

<ア - >

- ・互いに紹介しあう活動の中で、説明する内容に関連付けて用意した写真や絵を指し示しながら話している姿が見られれば（B以上）と判断する。

<イ - >

- ・紹介し合う活動において自分が特に伝えたい内容と関わる部分で、適宜相手に確認したり、繰り返しや強調、または写真などを指し示したりしながら話して伝えることができているならば（B以上）と判断する。

(3) 個に応じた指導の実際

<生徒に見られるつまずきの姿とその要因>

- ・どんな相手にも同じように早口で、相手の反応を確かめもしないまま一方的に話す姿
積極的に話そうとする反面、相手が分かりやすいように話そうとする意識が低い。
- ・写真を用意したものの、効果的に提示することができない姿
自分が話すことに手一杯で、相手の理解を確かめる余裕がない。

<指導の手立て>

相互評価を活用した手立て

- ・仲間との練習段階で、写真と英語の内容が一致していたかどうか、相手が強調した部分や繰り返した部分から伝えたい内容がよく理解できたかどうか相互に評価しあう場を設定し、仲間からの助言を取り入れるようにした。

学習過程の工夫による手立て

- ・余裕をもって対話活動ができるように、対話活動の前に自分が伝えようとしていることをメモをもとにしながら口頭練習するようにした。

個の学習状況に応じた手立て

- ・活動を観察する中で、上記のようなつまずきが見られた生徒に対しては、もう一度生徒が伝えようとした内容を写真を見ながら確認するとともに、特に伝えたい部分を強調する手法（間を十分に取ってゆっくり話す、繰り返すなど）に気付くことができるよう助言した。

<生徒の変容>

- ・相手の理解の度合いを気かけながら伝わっているか問いかけて確認したり、それに合わせて自分の述べたことを写真を指し示したりしながらゆっくりと繰り返す、といった姿が見られるようになった。



Class1- _____ Name _____

今日の任務： 1 . 「以下の人物を探し出し、その人物のサインを入手せよ。」
2 . 「グループへ戻り、メンバーに報告せよ。」

納豆好きを 3 人

ゲームボーイを所持するもの 2 人

Tom Cruise (トム・クルーズ) を知っているもの 1

諸君の健闘
を祈る！



結果 { Cleared not cleared }

参考資料： 学習プリント（友達紹介用）

Lesson 6 “ School in the USA ”

Class1- Name

君の友達はどんな人物？

～友達の情報をたくさん集め、紹介文を作ろう。～

* 反応を大切に！

〔 1 〕 例にならって友達と対話をし、Yesの答えには、Noの答えには×を書いてみよう。

例) A : Do you like sushi?
B : Yes, I do. (I like sushi.)
No, I don't. (I don't like sushi.)
A : あいづち、確認、感想など



Name	like			play			have		
	sushi	natto		the piano	the guitar		dog	cat	

〔 2 〕 友達について書きまとめてみよう。

like を使って:

(likes)

play を使って:

(plays)

have を使って:

(has)

参考資料： 学習プリント（友達紹介用）

〔交流の記録〕

話した相手 人（同性 人・異性 人）

この単元の活動の中で目指す姿

話し手は「相手の反応や理解度を確かめながら話すこと」
聞き手は「相づちや質問で積極的に反応し、納得するまで聞く」

そのために こんな表現を使いこなそう！

話し手： まずは大きな声ではっきりと

「自分の言うことを相手が理解しているか確認」

文を言った後にO.K.?

聞き手： 相手の顔を見ながら、うなずきながら

「相手の言ったことが分かったとき」 O.K.

「意外なことを聞いたとき」 Really?

「自分も」というとき Me too.

「もう一度言って欲しいとき」 Pardon?

「ああ、そうなの」 Do you? Does he?

「相手の言ったことを繰り返して確認」 Oh, .

「感心して、いいなと思って」 Nice. Good.

「参ったなあ」 Oh, No! / No!

「やった！」 Yes!

参考資料： 学習プリント（友達紹介用）

お互いに相手を意識しながら友達紹介をしよう。

相手の言ったことに反応しながら
相手に伝わるように

Class1- Name _____

【使えたかどうかチェックしよう。】

こんなとき	こんな表現をどんどん使ってみよう	チェック欄
話しながら (紹介しながら)	「自分の言うことを相手が理解しているか確認」 O.K.	
聞きながら	「相手の言ったことが分かったとき」 O.K.	
	「意外なことを聞いたとき」 Really?	
	「自分も」というとき Me too.	
	「もう一度言って欲しいとき」 Pardon?	
	「ああ、そうなの」 Do you? Does he?	
	「相手の言ったことを繰り返して確認」 Oh, <input type="text"/> .	
	「感心して、いいなと思って」 Nice.Good.	
	「参ったなあ」 Oh, No! / No!	
	「やった！」 Yes!	

【人物紹介で使える表現】

This is my friend, 名前.

He(She) is 年齢.

He(She) likes 好きなもの (very much).

食べ物、飲み物、教科、人物、趣味...

He(She) plays スポーツ (well).

He(She) plays the 楽器.

He(She) has a ペット.

He(She) lives in 地区名.

【活動の記録】

紹介した友達：

紹介した相手： 人（同性 人・異性 人）

参考資料： 学習プリント（人物推測クイズ用）

Lesson 6 “School in the USA”

Class1- Name

知りたいことを積極的に質問し、その答えに反応しながら、人物推測クイズを解き合おう。

人物リスト

Name (カードの人物)	play		like	have		
Tadahiko			×	×	×	
Ryosuke	×	×		×		×
Daisaku		×	×		×	×
Kenji	×			×	×	
Naoto						×
Risa	×	×				×
Yuko				×	×	
Yukari		×			×	
Noriko				×	×	
Marina	×	×				×